



広報

# しんち

5

1993.No263

発行と編集／新地町役場・企画振興課（〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40 ☎0244@2111）



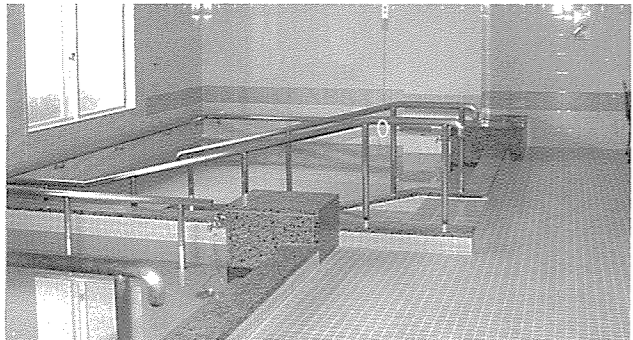
桃の蕊が咲きました



▲ 明るい居室



▲ 専用理容室



▲ 一般浴室

## 概要

名称	特別養護老人ホーム「新地ホーム」 新地町デイサービスセンター
運営主体	社会福祉法人しんち福祉会
設置場所	福島県相馬郡新地町小川字川向18番地
収容定員	70名 (内ショートステイ20名)
敷地面積	13,441㎡
構造	鉄筋コンクリート造平屋建
床面積	2630.56㎡
総事業費	11億4,400万円



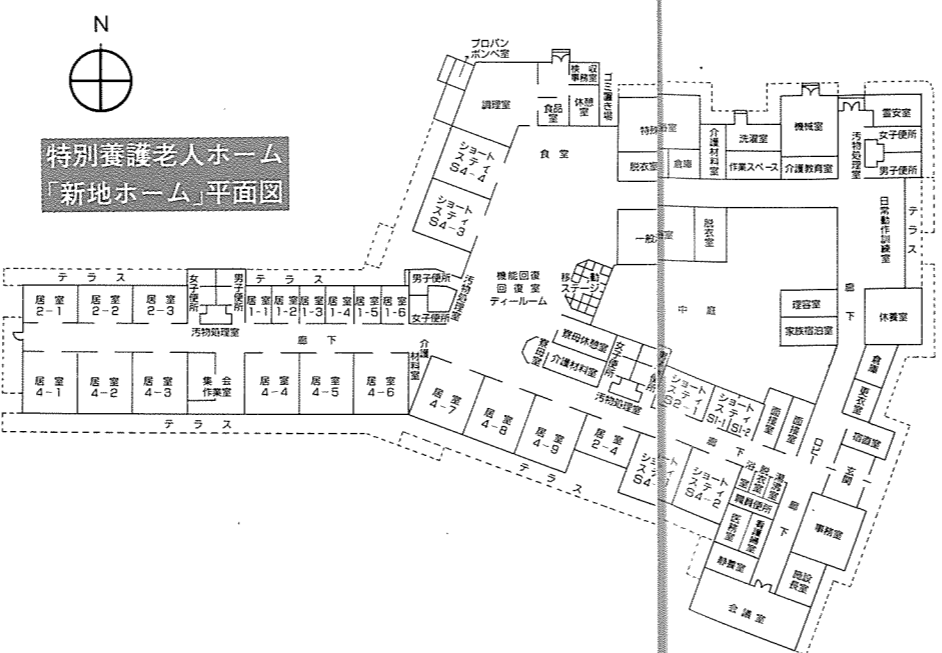
▲ 約140人が出席し開所を祝った



▲ 特別養護老人ホーム「新地ホーム」全景



▶ 荒町長らが  
テープカットを行う



# 特別養護老人ホーム完成

老人福祉の拠点

デイサービスセンターも

高齢化社会に対応し、町が小川字川向地内に総事業費十一億四千四百万円をかけて建設を進めてきた特別養護老人ホーム「新地ホーム」が完成しました。同ホームの敷地面積は、一万三千四百四十一平方メートル、建物は鉄筋コンクリート造り平屋建て二千六百三十平方メートル。入所定員は五十人、ショートステイ二十人のほか、リハビリ訓練室、食堂、特殊浴室、一般浴室、理容室、家族宿泊室、医務室などが設けられています。部屋の広さは、県の基準より一回り大きい「ゆうゆうスペース」を採用し、電気床暖房などを取り入れ、入所した人が快適に過ごせるよう工夫をこらしています。

現在、新地町の人口九千三十六人のうち六十五歳以上の人は千七百六十七人、そのうち、人の支えを必要とする寝たきりのお年寄りは約三十七人います。三十年後には「四人に一人がお年寄り」になると言われている今日、誰もが介護する立場や介護される立場になります。

今回は、老人福祉の拠点の誕生を祝うとともに、施設をご紹介します。

## やすらぎのある施設を目指し



加藤邦昭施設長(岡)

皆さんのご協力で立派な特別養護老人ホームが完成しました。当町は約五人に一人が六十五歳以上という状況を考えた時、特老ホームの建設は、多くの町民の願いであったろうと思います。その意を汲み、建設にあたられた町、議会を

して町民の皆さんのご協力に、重ねて感謝を申し上げます。私どもは、入所される方々が、家庭にいるような、明るく安らぎのある施設にしたいと考えています。そして、地域に親しまれ、家族やボランティアの人達が頻りに来るホームになるよう、職員ともども精一杯の努力を傾けて参りたいと考えています。皆さんの一層のご支援とご協力をお願いします。

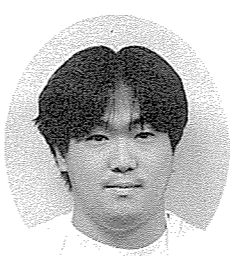
# 特老ホームをご紹介します



石田さとみさん  
(高田)

特別養護老人ホーム「新地ホーム」の事務を担当している石田です。素晴らしい環境と施設に恵まれ、職員一同張り切って仕事をしております。

職員定数は、デイサービスを含め施設長一人、事務員二人、生活指導員二人、寮夫母十五人、看護婦三人、栄養士一人、調理員四人となっております。夜間は寮夫母二人が常時勤務し、二十四時間態勢で介護にあたっております。嘱託医師は、遠藤内科医院の遠藤徳雄先生で週一回ホームにきて、診察にあたっております。また、公立相馬総合病院が協力病院になっております。



愛澤俊行・寮夫  
(相馬市黒木 介護福祉士)

## 入所者とい関係

保父の仕事を経て、寮夫となり、昨年学校に入り直し、介護福祉士の資格を取得しました。新しいホームでまた一から皆で、新しい老人福祉の施設をつくって行きたいと思っています。特老の名前は知っていても、施設の内容を知らない人がまだまだ多いと思います。それを踏まえ、施設を通じて地域との繋がりを深めることも大切な仕事だと思っています。お年寄りの方は人生の大先輩ですから人間性を重視し、その人とい関係であることが、その人にとっていい介護になると思います。

心をこめてサービスに努めています。

## 短期間のサービス

### ショートステイ

町内には、ホームに入所された外に、寝たきりで家族の介護を受けているおじいちゃんやおばあちゃんが約二十人ほどいるそうです。

家庭でおじいちゃん、おばあちゃんを介護をしている家族が、病氣、出産、旅行、冠婚葬祭、事故などで一時的に介護が難しくなった時や、介護疲れ等で休養を要する時など一時的に(一週間から十日間程度)おじいちゃんやおばあちゃんが入所できる制度があります。これをショートステイと呼んでいます。定員は二十人です。これは七月からスタートしますので、大いにご利用いただきたいと思っています。

## 日帰りのサービス

### デイサービス

デイサービスは、体が不自由で家にこもりきりだったり、足腰の弱り始めた人、寝たきりなど、おむね六十五歳以上の方に、送迎して日帰りで入浴や食事、日常動作訓練などのサービスを受けていただくものです。たまに外に出て、たくさん仲間と集い、話し合ったり励ましあったり、いたわりあることで、気分転換が図られます。また、家族も、日中のひととき介護から解放され、自由な時間が持てることになりま。この事業も七月からスタートします。

## 明るく活気のあるホーム

開所して間もないのですが、連日、家族の方が面会にきて



森泉美 栄養士  
(菅谷)

## 美味しい食事を提供

特老が出来る事を知り、自分の持っている栄養士の資格を生かしたいと希望しました。毎日の献立、カロリー計算、材料の発注、集計をしています。食事は一人ひとり嗜好も違いますし、身体の具合もありますので、皆さんから、好きな食べ物、嫌いな食べ物などを聞き、また、身体の具合によってメニューを変えています。でも、まだ、半人前なのでもっと勉強して、皆さんに美味しく食べていただき、「ホームに来てよかった」と言われるよう一生懸命頑張りたいと思います。

にきてくれたが、今度は近くなったので、おじいさんも大喜びだ。おじいさんがゆっくりにしていつてくれるので私も嬉しい。

○宮城のホームにいたけど、やっぱりふるさとがいい。何となく体もよくなって来たような気がする。

○一人暮らしで毎日娘の世話になつてきたけど、夜は独りぼっちだった。それでも、ここに来るときは寂しくて車から降りる気がしなかった。でも、だいぶなれたなあ。

○困ったことなんにもねえ。家督はいるし、(ここで)毎日うまいもの食べさせてもらえるから。

○何でも嬉しい。花見も、こうしてツメ切ってもらってるのも、皆の顔をみているのも。

○今までのホームの皆さんから行くなど引き留められたが、やっぱり故郷がいいし、息子らもそばにいてるんでありがたいな。

○一人暮らしで寝たきりの姉だったので、ホームに入れて大安心です。ずっと待ち望んでいただけにホッとします。ここでは、食堂で食事をするので、寝たきりだった姉も今では車イスから歩行器を使えるまでに元気になっています。

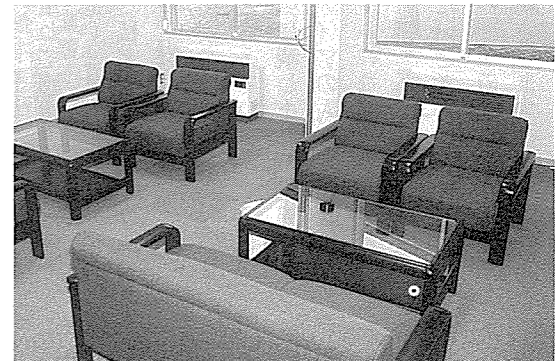
ホームの1日	
起床・洗面……6:30	昼食……12:00
朝食……8:00	回診(毎週水曜日) 13:00~
機能回復訓練……9:00~	おやつ……15:00
入浴 9:30~11:00 (月・木・特浴・中間浴) (火・金……一般浴)	夕食……17:15
お茶……10:00	就寝・消灯……21:00



▲ 洗練された新地ホームの前景



▲ リハビリ訓練室



▲ 家族談話室

## 入居された方や家族の声

○今までは相馬のホームに入っていて毎日おじいさんが面会

# 実現したいね

## 誰れもが住みたくなる町を

### 第2次新地町国土利用計画を策定

新地町国土利用計画が三月にまとまりました。この計画は町域の望ましい土地利用を行うためにつくられた長期の構想です。二十一世紀に向けて、心やすらぐ快適な田園都市”を目指した町づくりを進めている本町にとって、土地の有効利用は重要な課題であり、町土の利用に関する行政上の指針となるものです。

### 土地利用の基本方針

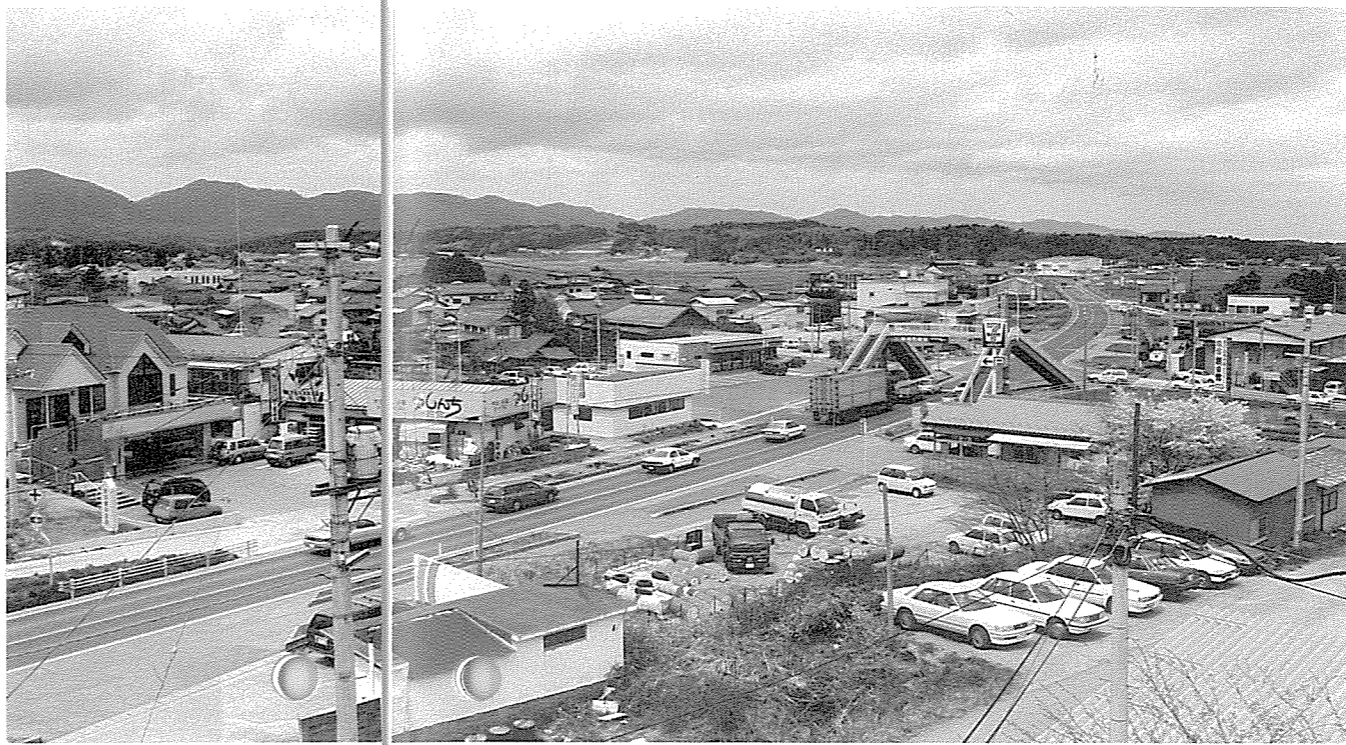
新地町の土地利用は、本町の特徴を十分認識し、恵まれたこの自然環境を大切にしながら、町総合計画の将来イメージの実現に置き、次のとおり土地利用の基本方針を定めています。

■ 新たな工業、関連産業導入のための基盤整備・農業生産環境の改善整備・快適でゆ

新地町は総面積は四十五・九五平方メートル（平成五年四月現在）を有し、この中で約九千人の町民が生活をしています。新地町域にある土地は、現在及び将来にわたって、町民のかけがえのない町民共通の資産です。これらの土地を将来にわたって良好な状況で後世に引き継いでいくことは非常に重要なことです。

は、県計画を基本にして新地町総合計画に即応するように、また平成三年七月十一日から十八日まで、六日間にわたり土地利用についての町政懇談会を開催し、町民の皆さんの意向を反映させながら策定を進めてきました。将来の宅地や農地などの配分とその方針を定め、町総合計画と同じく平成十二年度を目標年次としています。

なお、国土利用計画そのも



▲ 21世紀に向けて伸びゆく新地町



▲ 今年11月に試運転が始まる新地火力発電所

■ 新地町国土利用計画担当 企画振興課

とりある生活環境を創出する土地利用。

■ 優れた自然環境の保護、保全と秩序ある土地利用。  
■ 歴史的文化遗产の保護、保全、整備。

### 土地利用の基本方向

土地利用の基本方針に対応して土地利用の基本方向は、次のとおりです。

① 農用地は農業の基盤であ

- り、必要な農用地を確保し、生産性の向上と生産基盤施設の整備を推進する。
- ② 森林は、公益的機能を十分に認識し多面的な活用を図る。
- ③ 原野の機能を活かし自然環境の保全を図る。
- ④ 河川・水路・水面等の保全、整備を図る。
- ⑤ 道路（農林道を含む）は、町民の生活、生産活動の基盤施設として、積極的に整備を推進する。
- ⑥ 住宅地は、既存の住民の定住化を促進、また、新たな住宅需要に対応し用地の確保に

努めるとともに、都市的生活環境の整った住宅地整備を推進する。

⑦ 工業用地は、公害防止と自然環境との調和に配慮し、用地の確保と関連基盤施設の整備を推進する。

⑧ その他の宅地については、宅地整備、工業用地整備に連携し、用地の確保と整備を推進する。

⑨ その他の土地利用（公共施設用地等）は、公共施設のゾー

整備を推進する。

⑩ 海岸、沿岸地域については、港湾、漁業、レクリエーション活動等の場として、自然環境の保全を図りながら多面的に利用推進する。

町土の利用目的に応じた区分ごとの規模目標は次の通りです。

この計画は、社会情勢に対応して必要に応じて見直すなど、将来に悔いを残さないバランスのとれた土地利用に努めていきます。



### 重点選別的に事業推進を

町土は、町民のかけがえのない共有財産です。町土の利用は、公共の福祉を優先させ、自然の保全を図り、自然的、社会的、経済的、文化的条件を配慮して、健康で文化的な生活環境の確保と、均衡ある発展を基本理念としています。審議会においても、町の将来発展を目指したものと評価し、全会一致で原案通り答申しました。今後、事業実施にあたっては町民各位の理解と協力を得ながら、国土利用計画に基づき積極的、かつ重点選別的に推進し、誰もが「住んでよかった」と言える町づくりを期待します。

### ● 町土の将来の目標

(単位: ha, %)

用途区分	平成2年	平成12年	構成比	
			平成2年	平成12年
農用地	1,536	1,421	33.6	30.6
農地	1,535	1,420	33.6	30.6
田	964	902	21.1	19.4
畑	571	518	12.5	11.2
採草放牧地	1	1	0.02	0.02
森林	1,623	1,572	35.6	33.9
原野	35	35	0.8	0.8
水面・河川・水路	186	195	4.1	4.2
道路	233	297	5.1	6.4
宅地	291	597	6.3	12.9
住宅地	202	264	4.4	5.7
工業用地	38	267	0.8	5.8
その他の宅地	51	66	1.1	1.4
その他	661	523	14.5	11.2
合計	4,565	4,640	100.0	100.0
市街地	0	0	0.0	0.0

捨てる立場、拾う立場を考えて。

# クリーン作戦 2トントラック18台分のゴミ回収



▲ 早朝皆で集めたゴミの山を整理した

町民総ぐるみによる環境美化運動「クリーン作戦」が、四月四日、約二千五百人が参加し、町内に投げ捨てられた空き缶や空き瓶を拾い集めました。一時間で二十六トンのゴミが回収されました。

午前六時から一時間、子どもたちもおじいさんやお父さんを手伝い、国道沿いや海岸、町道、農道、河川などで汗を流しました。燃えるゴミは各地区で焼却、空き缶、空き瓶、不燃物（自転車等）は分別して三十八カ所に集めました。今回の総量は、昨年より二トン多い二十六トントラック

## 不法投棄監視員を委嘱

車十八台分になりました。集められたゴミを前に、参加者は改めて投げ捨ての多さに驚いていました。ある少年

不法投棄を防止し、美しい町づくりのため、四月十四日、農村環境改善センターで不法投棄監視員の委嘱状交付式を行いました。



▲ 不法投棄の実態を視察した監視員ら

監視員には各行政区、地区の区長を任命し、任期は二年。交付式を終え、早速町内の山林、林道などのゴミの状況を視察しました。

## 不法投棄監視員

(任期：平成5年4月1日～平成7年3月31日)

集落名	氏名	集落名	氏名
沢口	菊地 實	釣師	荒 利衛
鉄炮町	半澤敏郎	大戸浜	鈴木茂光
大山田	渡邊義光	今 泉	佐藤巳代治
明 地	横山 信	菅 谷	菅野正行
中 里	荒 昭悦	高 田	星 兵助
木 崎	荒 達雄	城 内	鈴木弘明
埴 浜	門馬昌治	上ノ町	鈴木幸清
作 田	布施市男	新 町	櫻井正行
下真弓	加藤智一	ケケ嶺町	阿部照雄
上真弓	林 茂男	淡 民	木村孝行
岡	菊地十四男	藤 崎	佐藤繁雄
杉 目	森 真	今 神	荒 一夫
新地町	三品好春	富 倉	佐藤國雄
中 島	大堀浩成	原相善	寺島 守
小 川	寺島幹雄	計	29 人

## 防災行政無線が開局

# 緊急情報伝達に威力

四月一日から防災行政無線の放送を開始しました。一日の午前七時十五分に荒町長が「待望の無線システムが完成し、速やかに情報伝達が出来ると運用に努めます」とマイクを通じ、あいさつしました。

防災行政無線は地震や火災、台風、津波などの際、発生状況や避難指令などを確実に伝えるほか、日常の行政広報に使用します。役場内の無線室や消防新地分署から発信した放送を、各家庭や事業所の受信機(二千台)、屋外子局十七局が二十四時間態勢で受信します。また町の公用車と消防自

## 尚英中3年生

# 東大に一日体験入学

尚英中三年生が四月十六日、修学旅行で東大に一日体験入学をしました。修学旅行は十三日に出発し、京都・東京を見学し、最終日に東大本郷キャンパスを訪れました。赤門をくぐり、安田講堂で文化人類学の世界的権威、赤沢威・助教の講義を受けました。

これは、平成二年度からスタートした町の人材育成児童生徒研修事業で、初年度は姉妹都市の北海道伊達市、三年度は長野市、四年度は札幌市で、小中学生二十二人ずつを研修に派遣してきました。しかし、参加希望者が多かったことから、今年度から中学三年生全員を東大に体験入学研修を行うことにしたものです。東大には、新地貝塚から出土した縄文後期末の標識土器が東大総合研究資料館に収められており、東大の協力でこの研修が実現しました。生徒たちは、「講義を聞いて



▲ 東大で講義を受けた尚英中3年生

町の遺跡が役に立っていることがわかった」「学校の環境が素晴らしい」と感激の面持ちでした。

詳しくは、役場総務課(☎2111)にお問い合わせください。

- 午後0時30分
- 午後7時30分
- 午後0時30分
- 午後6時
- 午後9時
- 正 午
- 午後6時
- 午後9時

## 今日は、保健婦です

# 結核対策で 優良市町村表彰

齋藤洋子保健婦

「結核」という病気は過去のものと思っていまいませんか？現在でも年間で三千人以上の人が結核で死亡しており、治療している人が九万人近くいるのをご存じでしょうか。

新地町は、四月十六日、財団法人結核予防協会総裁秩父宮妃殿下より、結核対策推進優良市町村として表彰されました。過去五年間の結核検診の受診率、結核罹患率やBCG接種率等が評価されたもので、皆さんのご協力に感謝を申し上げます。

## ●結核の特徴①

〈肺からうつる病気〉

結核は、患者の肺の中にある肉眼では見えない小さい菌が、患者が咳やくしゃみをするときに飛び散り、それをほかの人が吸い込むことで移ります。飛沫は、普通の咳をした場合には約1m半ぐらい飛び散り、他の人が吹い込んで肺に入ります。

## ●結核の特徴②

〈うつること結核になることは違う〉

結核菌が入ってきてても身体には病気を直す力がありますので、自然に結核菌を押し返してしまします。

## ●結核の特徴③

〈一度うつると一生結核になる恐れがある〉

小さい病巣ができますと、ふつう自然に直っていく人が多いのですが、その病巣の中にずっと何年も、何十年も結核菌が生き残り、身体が弱ったときにまた、出てくる恐れがあります。

## ●結核の特徴④

〈非常に気がつきにくい病気〉

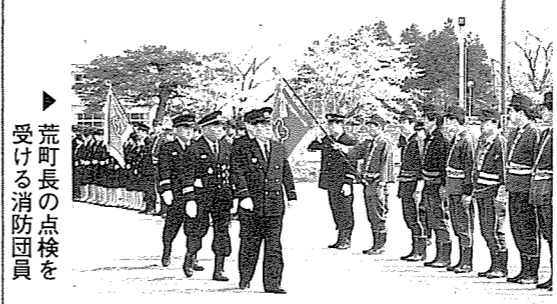
肺の中には神経がないので、肺の中だけでずんずんいるうちには熱も痛みもあまりありません。普通にする症状としては咳、痰ですが、咳や痰はなにも結核だけの症状ではありません。以上のような特徴をもつ病気ですので、早期発見が大切です。発見が遅れると周りの孫子供たちにうつってしまう恐れがあります。結核検診は年一回必ず受けてほしいですね。

消防団の皆さん、  
ご苦労さまでした。

新地町消防団の春の検閲式が、4月18日、公民館グラウンドで行われ、団員約280人が町内を行進し、会場入りした。中江団長と荒町長が「昨日の昼、夜半の2度にわたり山火事が発生、多くの団員が出動し、最小限に抑える事ができ、感謝と敬意を申し上げます。」



▲夜を徹して消火活動に当たった消防団員



▶荒町長の点検を受ける消防団員



▲3月28日、新ポンプ車4台が4分団に配備され、消火力さらにアップ

分頃発生、約5アールを焼失。消防署では、山菜採りのタバコの不始末が原因とみている。17日午後11時20分頃、同地より北約80㌔地点で火災が発生、約10アールを焼失、翌18日に同地で再燃、約1アールを焼失した。原因は現在調査中、被害額はいずれもゼロ。消防団の皆さん、連日の消火活動ご苦労様でした。また、何度も炊き出しをしていただいた地元の方、どうもありがとうございます。

竹ぼうき15本を贈る

福田老人クラブほうき部会

福田老人クラブほうき部会、桜井修さんら会員5人は4月17日、会員が作った竹ぼうきを福田保育所に3本、福田小に12本贈った。同部会は、余暇を何か生産的な活動に取り組みたいと、5年前から竹ぼうきに取り組み、朝市に出品したり、町内の小中学校、保育所などに贈っていた。桜井さんは「会員が少ない事とほうきの材料になる竹が少ないのが悩みです。私ももう年なので、後継者をつくり竹ぼうきづくりを継続させたいものです」と話していた。



▲桜井修さんらのプレゼントに喜ぶ福田保育所

町母子寡婦  
福祉会

母子寡婦の融和と地域福祉

活動に参加し、豊かな心と明るい家庭づくりを目指す町母子寡婦福祉会（会長目黒八重子）が4月11日、老人憩いの家で総会を開いた。総会に先立ち、原町社会福祉事務所の今野ミチ子母子相談員が「母子寡婦福祉法について」と題して講演を行った。総会では、母子寡婦の働く場の雇用促進、友愛訪問など事業計画を決めた。



▲優良組合員の表彰を受けた片平公子さん（中島）

新地町農協総会

優良組合員を表彰

新地町農協の総会が4月15日に開かれ、約200人が出席した。平間甲一組合長のあいさつの後、来賓の荒町長は、「農業を基盤産業と位置づけており、町も中核農家の育成や低コスト省力化に向けて支援していきたい」と祝辞を述べた。総会では、新役員を選任承認、5年度事業計画などを決めたほか、優良組合員を表彰した。



▲事業計画を話し合った母子寡婦福祉会

緑の少年団

緑を守ります

国道に

フラワーベルトを



▲自然の保護を誓った緑の少年団

駒ヶ嶺小学校の5年生全員で結成されている緑の少年団の結団式が4月19日、駒ヶ嶺小体育館で行われた。同少年団は、自然を愛し、親しみ、守り、地域社会に役立つことを目的に、今年も6号国道のフラワーベルトづくりや、鴻の巣ガムの緑の広場の草刈り、山火事防止などの活動を決めた。

ミニわらじで  
安全を呼びかけ

春の交通安全運動が繰り広げられた4月13日、町が開設した交通安全テント村では、八巻ハナヨさん（高田・90歳）が作ったミニわらじ百足を配って、交通安全を呼びかけた。八巻さんは10年前に長女を交通事故で亡くしており、犠牲者ゼロの願いをこめて1ヵ月かけて作ったもの。ドライバーはかわいらしいミニわらじをもらい、にっこり。



▶ドライバーに配ったミニわらじ（内は八巻ハナヨさん）

ユニークな活動

福田小造形クラブ



▲手づくりの版画カレンダーを披露する造形クラブ員

福田小の造形クラブ（部員4〜6年生18人）は、版画カレンダー22部を製作し、同クラブの卒業生や新地小に転任した後藤桂一校長などに贈った。版画カレンダーは、使用済みの紙などを廃物利用し、5月は愛鳥週間、6月は傘をさしたかたつむりなど共同作業で仕上げたオリジナル作品。各種ポスター・コンクール等でたびたび入選しているだけに素晴らしい出来栄となっている。その他、陶芸、木工細工、和紙を使った小物入れ、紙すきハガキづくりなど意欲的に取り組んできた。顧問の吉田雄二先生は「造形クラブを、子どもたちの特性を生かす場にした」と抱負を話していた。



わが家のアイドル  
林 桃子ちゃん (2歳2ヵ月・上真弓)

# お知らせ

新地町役場 / 〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40  
TEL 0244(62) 2111・FAX 0244(62) 3194

## 平成5年度人材育成事業

# 「町民の翼」団員を募集

男性20人

「町民の翼」事業は、新地町民の研修派遣実施要綱に基づき、国際理解を深めるとともに広いものの見方を身につけて頂くために海外研修の機会を与え、その体験をもとに地域社会や職場、家庭、各種団体、グループ等において積極的に活動を行って頂くことを目的としています。

### 募集要項

- 視察研修先  
ヨーロッパ(イギリス、スペイン、フランス)
- 派遣時期  
10月17日(日)～27日(水)
- 派遣人数  
20名以内(各行政区1名、各種団体(農協・漁協・商工会)1名程度)
- 経費  
1名70万円程度(内自己負担20万円程度)
- その他  
手数料、保険料、オプショナルツアー料金、出発前に必要な費用等約8万円程度。

### 応募資格

- ▽ 町内に居住し、今後も町に定住する意思のある男性
- ▽ 平成5年4月1日現在で、原則として25歳から50歳までの方。

### 研修内容

- ▽ 訪問国の市民生活、産業、文化、歴史、教育、及び自然環境等の実状を見聞し研修する。
- ▽ 可能な限り、訪問先の市民との交歓・交流を行う。
- ▽ 帰国報告書(感想文程度の簡略なもの)を提出する。
- 詳しくは、役場総務課(☎21111内線15)へ。

### 町民の翼日程

10月17日(日)	成田→ロンドン→ホテル
10月18日(月)	ロンドン トラファルガー広場、国会議事堂、バッキンガム宮殿等視察
10月19日(火)	ロンドン ハマースミス地区社会奉仕部、ヒルサイド・コート視察
10月20日(水)	ロンドン→マドリッド 王宮、スペイン広場、太陽の門等視察
10月21日(木)	マドリッド マドリッド市役所等視察
10月22日(金)	マドリッド トレド視察
10月23日(土)	マドリッド→パリ→ホテル
10月24日(日)	パリ ノートルダム寺院、シャンゼリゼ通り等視察
10月25日(月)	パリ 自由視察
10月26日(火)	パリ→ロンドン→成田

### 参加団体募集

## 花いっぱい運動 苗をお分けします

今年も、花いっぱい運動が始まります。花と緑がいっぱいの生活は、心に潤いやゆとりを与え、豊かな心を育ててくれます。花と緑で心をつなぐ「花いっぱい運動」に、ぜひご参加ください。参加団体には、マリィゴールド、百日草などの苗を

配布しています。地域グループや各種団体の参加をお待ちしています。

お申し込みは、5月15日まで、新地公民館(☎2111)へ。



### 歯つばいライフ8020

80歳以上で歯が20本ある方を募集ください

福島県と県歯科医師会では、80歳以上で20本の歯が残っている方を募集しています。

● 募集期間  
6月1日～30日

● 応募資格  
最寄り又はかかりつけの歯科医院(福島県歯科医師会会員)で「歯つばいライフ8020」に応募することを申し出てください。応

### 今月の納税等

固定資産税	第1期
国民年金	5月分
水道料	第7～第15行政区

### 霜に注意

5月は、農作物の成育が重要な時期になってきます。農家の皆さん、霜注意報が発表された場合には、農作物の管理に十分注意してください。重油、エフヒート等の使用の際には消防新地分署(☎2117)までご連絡ください。

### ご寄付ありがとうございます

- 地域福祉基金へ  
・ 中里工務店(代表中里隆一・小高町)より 50万円  
・ 三瓶淳さん(前地域振興整備公団相馬開発所長・仙台市在住)より 5万円  
・ 菅野日出子さん(作田)より 5万円
- 社会福祉協議会へ  
・ 谷地小屋水利委員会(井上康夫委員長)より 10万円
- 故仁科道子さんのご遺志により仁科隆夫さん(杉目)より 5万円
- 新地公民館へ  
・ 小川タキ子さん(岡)より 世界の文学他100冊  
・ 寺島諄さん(福田山崎共火第2宿舍・宮城県出身)より 雑誌など140冊  
・ 遠藤フミさん(新地町)より 世界の文学など70冊



### 消 息



3/21～4/20 届出

▷ 出生(届出は14日以内) おめでとうございます

(子供)	(親)	(地区)
馬 八巻 繁雄	岡	小川
千尋 山下 和彦	上真弓	師中
佑弥 林 真一	和男	里
貴之 福田 和男	純	師中
大島山 純	中	里
平森 晴男	釣	師中
和哉 寺島 光一	駒	町

▷ 死亡(届出は7日以内) おくやみ申し上げます

(死亡者)	(年齢)	(地区)
菅野 ヒデ	74歳	菅谷
星 トシイ	79歳	富倉
菊地 一	80歳	沢口

※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに申し出てください。

## きっかけは？のぞいてみませんか

### 公民館受講生募集

● 新地公民館 (☎2085)	料理教室	5～2月	生花教室	5～2月
婦人学級	5～7・9・10・12～2月	手編教室	9～3月	
英会話教室	10～12月	● 勤労青少年ホーム (☎23106)	生花教室	5～3月
鹿狼少年教室	5～8・11～2月	手編教室	9～3月	
ことぶき大学	5～7・10・12・3月	エアロビクス教室	6～7月	
家庭教育学級	6・9・11月	社交ダンス教室	5～7月	
成人学級	7・10・2月	短歌教室	6～9月	
親子劇場	10月	俳句教室	5～10月	
国際交流事業	10月	墨絵教室	5～12月	
生花教室	5～3月	カラオケ教室	10～11月	
青年学級	5～2月	料理教室	10月	
● 駒ヶ嶺公民館 (☎3477)				
書道教室	5～2月			
墨絵教室	5～2月			

月ごとの公民館、青少年ホームの行事日程は、広報「お知らせ版」に掲載しますのでご覧ください。

# 町民のひろば

みなさんの「声」をお寄せください。身近な出来事や心温まる話、お子さんが書いた絵やイラスト、町や広報に対するご意見・ご要望など何でも結構です。  
 ■連絡先 企画振興課企画調整係  
 ☎02-2111 内線35(63)

## 第2回町民の翼

### ヨーロッパの思い出を出版

昨年十月、第二回町民の翼でヨーロッパを視察研修した十八人の女性のグループ「れまんの会」(会長・西坂美恵子)

が、このほど旅行体験記「夢、翼にのせて」20人の旅物語り」を出版しました。会の由來はスイスで見た「レマン湖」



に皆が感動したことから命名したそうです。第二回町民の翼は、団長の事務局を除く十八人が女性。昨年十月十七日旅行体験記を出版し、歓談するれまんの会

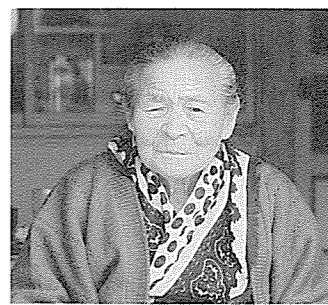
日から二十八日までの十二日間、イギリス・イタリア・スイス・フランスを訪れました。帰国後、村上美保子さんから編集委員六人が中心となって報告書の編集を進めてきました。

報告書は、B5判、七十二ページで、百部作成。巻頭にカラー写真をふんだんに使用し、訪問国を紹介、視察研修報告と団員一人ひとりの、家族へのアンケート、食事のメニュー、失敗談やファックスで夫から届いた愛のメッセージなど楽しい読み物になっています。この報告書は、行政区、地区の区長にそれぞれ一部ずつ配布しました。

れまんの会では、会員の親睦を深めながら、旅行記念の植樹のほか、福祉活動など女性の立場から積極的に町づくりに参加をしていくことが話しあわれました。

四月二十五日には、代表者が特老ホーム「新地ホーム」を訪れ、清拭布を贈りました。

## ハッラツおばあさん



荒 ヨシさん(90歳・堺浜)  
 今年の2月に倒れてから歩くことが出来なくなったそうですが、自力で歩く努力をし、その回復力にお医者さんもビックリしたそうです。趣味はテレビと編み物。(家族と一緒に車で右近清水と、実家の杉目の花見に来たヨシさんにインタビュー)

## 国際交流 再会に喜び



▲丁さん(円内)のつくった韓国料理を味わった菅野さんら

一昨年の町公民館主催「歩こう大会」がきっかけで菅野芳信さん(小川)らと国際交流を続けている韓国女性、丁善貞(チヨン・ソンジョン)さん(二六歳)

がめいの金貞禮(キム・チヨンイ)ちゃん(四歳)を連れて四月十二日来町、菅野さんと一年ぶりに旧交を温めました。丁さんはアジア国際交流協会のボランティアとして飯館村に十カ月間滞在し、昨年三月帰国。日本語も流暢です。十四日に菅野さん宅で、丁さんと交流のある人達が集まり歓迎会。丁さんは唐がらし、焼き肉のタレなどを持参、キムチ、カルビ焼き、もち米菓子、ビーフン炒めなどを披露し、参加者は本格的な韓国料理に舌鼓を打っていました。菅野さんは、「町内の男性と結婚し永住してほしい」と願っていました。

## 投稿

### 旧福田村の思い出



鎮田清山(上真弓)

天気の良い日には、ときどき三滝川を見に行く。小学校に通ったジャリ道も今では県道になり、舗装された通学用の道路も出来ている。諏訪神社を下ると、下の方には白い河原が見えてくる。三滝川はその中を気ままにうねりながら流れている。白い河原に沿って幾段かの河岸段丘があり、

じの花から教わったのだから、「田植えつづじ」と言う名前が残っている。田植えつづじの花が春を案内するように、山の尾根に向って登り始めると、旧福田村はすっかり春になる。用水路には枯葉をのせた春の水が流れ、あちこちでコトコトと耕運機の音が鳴り始める。都会からきた人はその風景が美しいという。そう言われて、村の人達は教えられたように山を見上げる。村人自身あまりにもその風景の中に溶けこんでしまっているのだから、

## 七やん 幸せは自分でつかもうよ



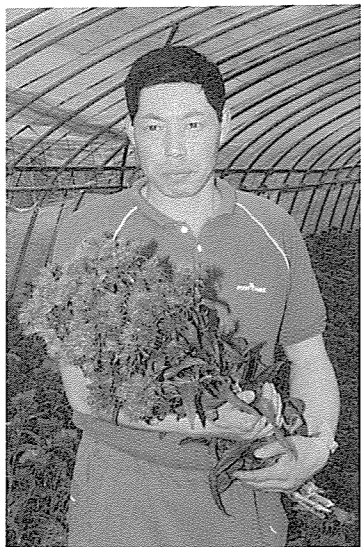
斎藤恵子さん(沢口)

♡S48.10.3生・血液型A型・てんびん座  
 ♡今度成人とあって、成人式の日取りが気になるという恵子さん。着物があるので、冬がいいなあといながら明るくインタビューに応じてくれました。

○今日は。何人家族ですか。  
 ☆おばあちゃんと両親と妹の五人家族です。とっても明るい家庭ですよ。  
 ○具体的に教えてください。  
 ☆毎日家庭団欒があつて、みんなそれぞれの日の出来事などを話し合ってます。近所の事や職場の事や学校のことなど、遅く帰ると話にまぜてもらえないんです(笑)。○それではストレスもたまりませんか。何か親孝行し

ていますか。  
 ☆家にいることが親孝行かな。でも、今度の休みは「種蒔きだ」って言われているので、きつと手伝うでしょうね。  
 ○三姉妹でお姉さんは既にご結婚されたそうですね。  
 ☆はい。それで私が家に残るといふか……そんな感じですよ(笑)。  
 ○新地町をどう思いますか。  
 ☆私は、住みやすいと思います。特に、福田はのどかでいいです。  
 ○最後に、独身男性にメッセージをお願いします。  
 ☆幸せは歩いてこない。自分でつかむものです。私をつかまえて(笑)。(ありがとございました)

## 頑張るマン



加藤栄一さん(34歳・杉目)

### 新しいことに挑戦したい

加藤栄一さんは、杉目で花を栽培する農業青年です。自宅前の畑十アールにナデシコやカスミノウを栽培していま

す。中学生の頃から、将来は農業をやると決め、伝習農場(広野町)で三年間寮生活を送りながら、施設園芸を学びま

した。加藤さんは「花はね、赤ちゃんを抱くようにやさしく持つんだ」と言いながら、収穫の最盛期となったナデシコを摘んでいました。今年のナデシコはあまり良くなかったそう、一年ごとが勉強だとも話していました。また長年、町農業改良推進員として活躍し、地区の世話や他の市町村推進委員とも積極的に交流を行ってききました。最後に、加藤さんは「花づくりを十年してきて、今、時代にあった農家経営というものを考えているところです」と話していました。



## 珍しい樹木

### ユズリハ (譲葉)

春は自然の草や木々がせいに芽を吹かせ、たぎる生命力を競い合っているようです。近ごろ町内のあちこちの樹木たちから「私も紹介して」とサインが送られてきますので、今後は大きな樹だけでなく、家庭の庭先にある珍しい樹木たちも紹介していきたいと思えます。

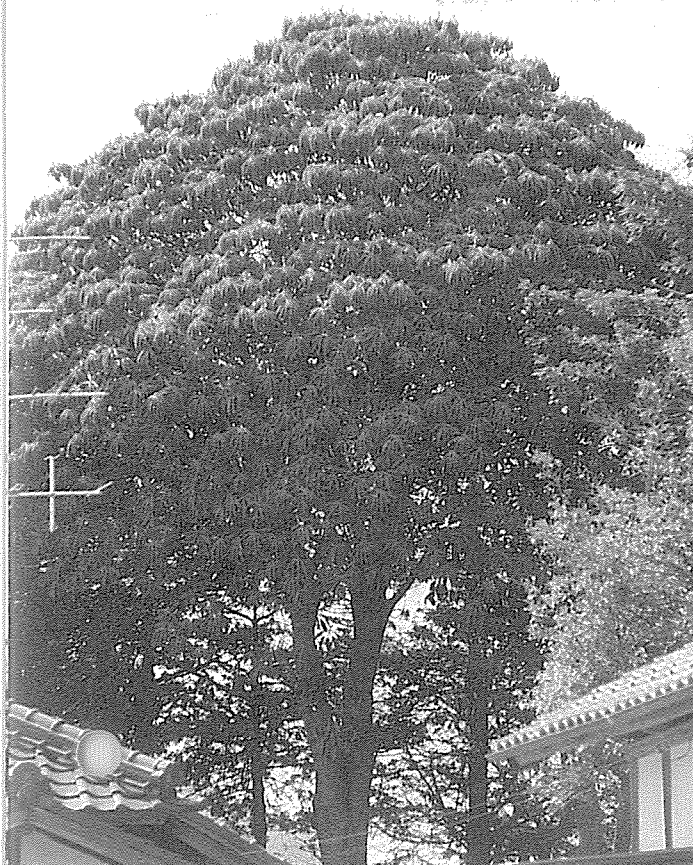
春は自然の草や木々がせいに芽を吹かせ、たぎる生命力を競い合っているようです。近ごろ町内のあちこちの樹木たちから「私も紹介して」とサインが送られてきますので、今後は大きな樹だけでなく、家庭の庭先にある珍しい樹木たちも紹介していきたいと思えます。

た。また春と秋の二回、忙しい時期に落葉するので困ってしまうといって笑っておられました。

#### メモ

ユズリハ科ユズリハ属で一科一属。ユズリハは暖地性で中部以西、エゾユズリハは多雪地帯に多く日本海側から北海道まである。その他ヒメユズリハ、シマユズリハ等の種類がある。

若葉がのびてから古い葉が落ちるところからユズリハの名がついたといわれ、縁起の良い木として昔から正月の飾りに使われる。雌雄異株である。



樹種	ユズリハ (譲葉)
所在地	新地町谷地小屋字北追地内
所有者	百井宗夫さん
樹齢	約 90 年
幹回り	16.7 cm
樹高	約 11 m
樹冠	約 6 m
その他	実がなることから雌木のようにである。

## 町日誌

荒 和英

- 3月 22日 議会本会議、新地養蚕組合総会
- 23日 新地小学校卒業式、新地町ゲートボール協会総会、福田地区受益者会議、新地福祉会理事會
- 24日 土地連原町支部役員総会、行政区長會
- 25日 建設技術センター理事會、広域圏管理者會、相馬地方町村會
- 26日 県土地連役員會総會
- 28日 消防ポンプ交付式、駒ヶ嶺婦人會総會
- 29日 ふれあいの森植樹祭
- 30日 4保育所連絡會総會
- 31日 退職者辞令交付式、特老ホーム開所式
- 4月 1日 辞令交付式
- 2日 転入先生着任式
- 4日 環境美化運動、日赤奉仕団總會
- 5日 4保育所入所式
- 6日 小中学校入学式、交通安全伊達と相馬の関開設
- 8日 県町村會正副會長會
- 9日 新地高校入学式
- 10日 婦人消防總會
- 12日 総務常任委員會
- 14日 臨時議會、不法投棄監視員辞令交付、行政区長會
- 15日 農協總代会
- 16日 結核予防優良町村表彰式
- 18日 消防団春季檢閲式
- 20日 町ゲートボール大会、町土地改良区理事會總代会

### こちら編集室



爽やかな新緑の季節となり、私も広報担当三年目の春を迎えました。今月号は、特老ホームをメインに防災行政無線、土地利用計画、ゴミ問題などを取り上げましたが、どれをとっても、今後の町づくりの重要課題だけに、継続して考えていきたいと思えます。

四月から新人のK君が新しい仲間。「役場に二軍はない。即戦力だ」とエール(?)を送り、早速、取材や休日返上で今月号の編集にあたってもらいました。カメラを下げてK君を見かけたら、声をかけてやってください。

(K・S)